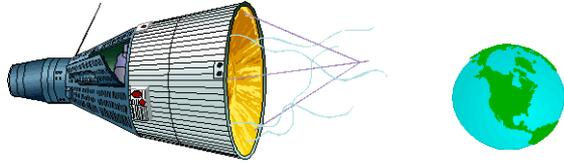


相対性理論をめぐる誤った思いこみ

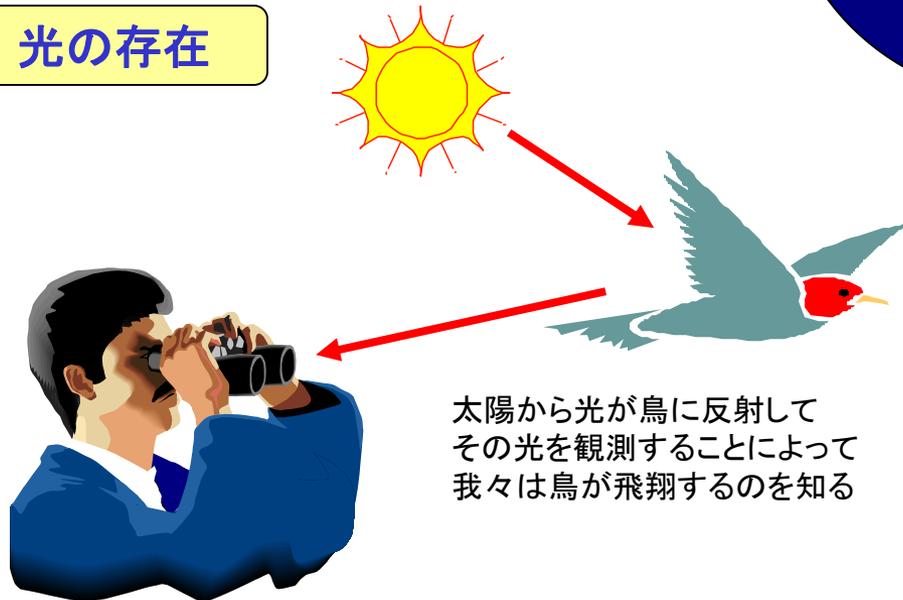
絶対空間の存在



【思いこみ】「時速3万キロで飛行しているロケット」という言い方。

【正解】速度を言う場合、何に対しての速度か、その基準を示さなければ、物理的に意味がない。「地球に対して、時速3万キロで飛行しているロケット」という方が正しい。基準によって、ロケットは静止しているとも言えるし、運動しているとも言える。

光の存在

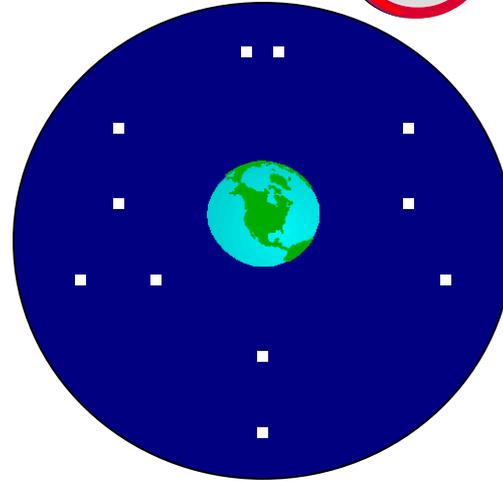


太陽から光が鳥に反射してその光を観測することによって我々は鳥が飛翔するのを知る

絶対時間の存在



宇宙があろうがなかろうが、時間は一定に時を刻みつづける。



【思いこみ】宇宙の状態に関わらず時間は一定に時を刻み続ける。

【正解】宇宙に運動する存在(例、自転する地球など)がなければ、時間が経過していることを確認することが出来ない。時間を計ることができなければ、そもそも時間など存在しないに等しい。即ち時計が存在できるほどの空間がなければ、時間を定義することができない。極端な言い方をすれば、宇宙に時計職人が一人もいなければ、時間などは存在しない。

【思いこみ】光があろうがなかろうが、世界は存在する。

【正解】光がなければ、何も観測できない。それは何も存在しないに等しい。眼を持たない生物にとっても、触覚、聴覚などにより外界を検知することができる。

相対性理論をめぐる誤った思いこみ

相対性理論最大の誤解



私はただの人間だ

アインシュタインは神だ！！

アインシュタインの言うことに間違いはない！

相対性理論は絶対に正しい！

